

子育 フ ジャーナル



発行人 四ツ釜雅彦
公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会・幼児教育センター
全埼玉私立幼稚園PTA連合会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館
TEL 048(863)7811 FAX 048(863)7761
<http://www.youchien.ed.jp>

No. 78
2015(H27)年
7.10

「生きる力」を育む幼稚園教育



(公社)全埼玉私立幼稚園連合会
名誉会長 平原 隆秀

入園、進級から早いもので、三ヶ月が経ちました。四月に入園した年少組の子どもたちも、先生やクラスの友だち、そして年中、年長組の子どもたちとのふれあいを通して、日に日に園生活にも慣れ、みんなで元気に楽しく一日を過ごせるようになってきています。

年中、年長組の子どもたちは、年少さんが泣いていれば優しく声をかけたり、ときには手を引いて先生のところに連れてきてくれたりと、小さい子を思いやり姿も見せてくれます。こうした光景を目にしたときは、まだ幼い年中、年長組の子どもたちですが、

頼もしく見えて、保育者として子どもの確かな成長に立ち会える喜びを実感させられます。

新入園児の子どもたちは入園してしばらくは、クラスの保育室を中心に活動しますが、幼稚園の生活に慣れてくると、園内のあちらこちらに出没。あちらの遊具、こちらの砂場と巡って、そこで遊ぶ年中、年長組の遊びにも興味津々。同じように戯つてみたいと取り組んだりもします。

また、園外保育で近隣の公園に出かけたり、バスに乗つて遠足に出かけたりもします。幼稚園の限られた空間から一歩踏み出して、いつもと違う環境の中で初めて目にするもの、初めて体験する出来事にワクワクドキドキ。山登りに川遊びなど、開放感あふれる自然の中で思い切り楽しんだり、

遊びが心身の発達を促す

アスレチックがあれば早速取りつき、難所に挑戦してはゴールまでやつとの思いでたどり着くなど、伸び伸びと身体を動かして遊びます。

遊びを通して身体を活発に動かすことは、身体機能や運動能力、さらには体力を高めるなど身体面の発達を促すとともに、友だちと一緒に活動することで協調性や喜びの共有・共感などの一体感、挑戦して「できた!」という達成感など、多くの感情体験を得ることになります。「人間形成の基礎を培う幼児期」、遊びを通して心身の発達を促すことは、将来豊かな人生を送るために必要な基盤づくりにつながるものですね。

この夏休みには、自然の中で、親子で思い切り身体を動かして遊ぶ機会を作つてみてはいかがでしょうか。テーマパークとはまたひと味違った「楽しい夏の思い出」となることだと思います。

その上、理屈を言えば竹馬や縄跳びなどのようにパソコンゲームでは育てるとのできない、動的平衡性や協応性などの高度な運動機能を自然に高めることができます。



シリーズ 子育ての知恵

剣玉とおでだま

小山 一宏

「おもちゃ」は、子ども遊びにとって、なくてはならないものでしょう。現在市販されているおもちゃは、親の子ども時代のおもちゃと比較すると、その種類も機能も格段の差があります。

しかし一方「剣玉」や「おでだま」のように古くて新しい感覚のおもちゃが復活してきております。これらのおもちゃは、自動的に動作することはありませんが、練習を重ねれば幼児期から多様な遊び方ができ魅力も増しています。

その上、理屈を言えば竹馬や縄跳びなどのようにパソコンゲームでは育てるとのできない、動的平衡性や協応性などの高度な運動機能を自然に高めることができます。

もちろん、繰り返し練習しなければ本当の楽しさを味わうことができませんし機能も発達しません。幼い子どもだけでは興味を抱くことも少なく、すぐ飽きます。親子が一緒に取り組み、一緒に楽しみながら親子の絆を深めてはいかがでしょうか。

笑顔のお母さんでいるために

子育て中のお母さんは大なり小なり悩みや不安を持つています。人によつては、それを表に出さないだけ。まずは「みんな同じ」と思つて肩の力を抜きましょう。幼児期の子育てを楽しみ、笑顔でいるためのコツをいくつかご紹介します。

よその子と比べない

以前、子育て電話相談室を担当していたとき、

専門家の先生方の回答の多くが「お母さんにつきることは待つことです」

であったことに新鮮な驚きを感じました。「お友達とうまく遊べない」などなかなかオムツがはずれない」平仮名に関心を示さない」「食べ物の好き嫌いが直らない」など相談のジャンルはさまざまでしたが、それぞれの専門家が同じことを言うのです。

私たち母親は子どもと接する時間が長い分、わが子の「まだできない」がとても気になりますね。でもそれは、よその子と比較するから生まれる悩み。わが子にはわが子のペースがあると考えれば、少し気が楽になりますか。専門家が言う「待つてみましょう」は、今はわが子のペースを見守つてあげていい時期ですと

いうことなのです。

私なりに言い換えれば、

「この時期の早い遅いは個性のうち」。オムツがはずれない子はいませんし、お友達に手が出ていた子もやがて落ち着いていきます。ただ、待つことは放つておくことではありません。オムツはずしてやらねば」と考えると直してあげたい」という感情があることです。多くは性格面でのことで、

「毎朝元気に起きてくる」「健康だ」「よく笑う」「ママ大好きと言つてくれる」：ほら、すぐに10個になるでしょう？ あります。そのままの姿から、いいところを「発見」してくださいね。「身支度が早い」「平仮名が書ける」「逆上がりができる」といったことを言うのでお友達に嫌われやしないか」「おとなし

親の仕事です。また、発達障害に関しては、待つのではなく早めに対応していくことがよい結果をもたらすことがあります。

何かご心配があるなら、まずは園に相談してみましょう。多くの子どもたちを見てきている先生がたなら「個性のうち」かどうかアドバイスをくださるはずです。あるいは、その子への上手な接し方や言葉かけのコツを授けてくださるでしょう。

子どもの長所に目を向ける

もう一つ、母親の傾向として挙げられるのが「この子のこういう面を直してあげたい」という

「直してあげたい」「直してやらねば」と考えるとお母さんの眉間にいつ

もシワが寄つてしまいま

すが、プラス思考でいれば笑顔が生まれます。お

母さんが笑顔でいると家庭に温かい空気が流れます。

くて思ったことも言えないとから仲間はずれにされないか」「世話焼きなので、鬱陶しがられるので

は？」といった心配です。

しかし、「ずけずけモノを言う」だとマイナスに聞こえますが、「自分

の意見を持つていて」ならプラスの表現、同様に「おとなしい」「世話焼き」は「思慮深い」「世話焼き」は「面倒見がいい」とプラスの表現ができますね。幼児期の子育てには特にこのプラス思考が大切です。

「この子のこういう面を直してあげたい」という感情があることです。多くは性格面でのことで、

「毎朝元気に起きてくる」「健康だ」「よく笑う」「ママ大好きと言つてくれる」：ほら、すぐに10個

になるでしょう？ あります。

そのままの姿から、いいところを「発見」してくださいね。「身支度が早い」「平仮名が書ける」「逆上がりができる」といったことを言うのでお友達に嫌われやしないか」「おとなし

努力して獲得したことは



「評価」になっています

から、別物です。それで

もなかなか浮ばなかつた

ら、お父さんや先生に聞

いてみましょう。そういう

う見方があつたかと目か

ら鱗が落ちるかもしれません。

幼児期の今は、親がい

いところを認め、子ども

にも口に出して伝え、子

どもの自尊感を高めてい

くことに価値があります。

ママ友とはいい距離感を

ママ友づきあいではこそ数年の傾向として、「子どものためにも親同士が

仲良くならねば」と頑張つてしまおうお母さんと、

「面倒なことが多いから

西東 桂子 先生

(教育ジャーナリスト、編集者)



月刊「幼稚園ママ」(朝日新聞社出版局)編集長を経て独立。現在は月刊「あんふあん」(サンケイリビング新聞社)の監修者を務める。私立幼稚園での「保育実習」を長年続けており、幼稚園の保護者や保育者に向けて講演活動も。著書に『まるわかり幼稚園ライフー子育て・子育ち・先生・お友達・ママ友のこと』(ポット出版)、監修書に『ママ友おつきあいマナードリル』(主婦の友社)、編集書籍に『はじめて出会う育児の百科』(小学館)など。

ママ友づきあいは一切しない」というお母さんの二極化が進んでいるようです。前者では、LINEのやりとりに疲れ切つたり、仲間はずれにされたと悩んだりする人が増えてきました。

私が強く思うのは、常識で考えようということ。家庭ごとに生活サイクルも経済状況も異なります。赤ちゃんがいる家庭ではスマホにすぐ返信できなかかもしれません。週1

私が強く思うのは、常識で考えようということ。家庭ごとに生活サイクルも経済状況も異なります。赤ちゃんがいる家庭ではスマホにすぐ返信できなかかもしれません。週1

先日、年長組の子どもたちと給食を食べていた時のことです。同じテーブルの子どもたちと家族や兄弟の話になりました。中学生のお姉ちゃんがいる女の子が近くに座っていたので、「お姉ちゃんは、中学校で何の部活をやっているの?」とたずねました。その子は何のことだろう? という様な表情をしたので、私が「知

らないかな?」と尋ね、「わからない」と返事が返つてきました。

それから数日後、その女の子が私のところに「先生、この前ランチルームで話したことあるでしょ?」と言いました。私はすぐには何のことか思い出せず、言で私もある時のやりとり

子どもの成長

ながせ幼稚園 教頭 伊藤 啓子

を思い出しました。それと同時に、私に聞かれたけれどわからなかつたことを、家でお母さんに聞いて、また報告に来てくれたことにとても驚きました。

後日、その女の子のお母様と話をする機会があり、この話をしてみましたが、その子は、お姉ちゃんのことだから…と自分で考えていました。毎日の生活の中でも様々なことを吸収し、目には見えにくいものです。しかし、子どもたちはあそびの中や日々のところも成長していきます。

私たち保育者は、子どもたちとの日々の触れ合いや色々な場面から子どもの成長を感じ取っています。その成長を保護者に伝える事

回のランチ会を負担に思っているなら、そのやり方がわが子に合っていないかも知れず、ママ友の方を試してみたらとてもうまくいくことだつてもうかもしれません。

園のママ友は子どもを通して知り合った人ですから、ある意味、期間限定です。限られた期間、気持ちよくおつきあいができるようでは子どものお手本になります。そこをきちんと押さえつつ、卒園後も長くつき



で、子どもの成長の喜びを保護者の方と共有することが出来ます。それがまた子どもの成長へとつながってい…と考へると、子どもと過ごす毎日がより楽しくなります。



れる友人がみつかつたらラッキーと考えて! 私の経験では、頑張らずにつきあえるウマの合う人が、きっとみつかります。

わが家のしつけ

基本的な事から
あけぼの東幼稚園

堀田 望美

豊かな心、子どもの笑顔
朝霞幼稚園

橋本さとみ

親子で考える
西川口幼稚園

西川 充恵

親の願い
原市文化幼稚園

森田 共実

わが家では、間違った事をしたら「ごめんなさい」そして、優しい子に育つて欲しいという願いから1人で遊んでいる子がいたら声をかけてあげられる子に育つてくれるよう言い聞かせてきました。

最近は親に素直に謝る事が出来ていませんが、教えはしっかりと子どもの身に付くんだなと思う出来事がありました。

広場で踊っていた娘が、後ろの男性とぶつかり、娘は直ぐに振り向いて「すみません」と謝る素直さにびっくりしました。

また、先生から「誰とでも仲良く遊べていますよ」と聞く度に、親としての喜びを感じております。娘には、人として守るべき基本的な事を今後も教えたいと思います。

わが家では、最低限のマナーや態度を身につけられるように、自分で判断力がつくよう育つて欲しいと、いう思いから、褒める叱るの区別を、しっかりとつけるようにしています。

小さな事でも出来たら「良かったね、頑張ったね」と努力したことを褒めて自信を持たせ、時には厳しく「こうしたら○○だよね！」と、なぜしてはいけないかをつけて加えて注意を促します。

いつも素直に聞いてくれる訳ではありませんが、挨拶やありがとうの言葉を、自発的に言える事が少しづつ増えてきて、嬉しく思います。

子どもが集団生活を楽しんで送れるように、子どもに合ったしつけを探し、私自身も一緒に成長していきたく思います。

わが子には色々と教えてしまいたくなり、つい口うつしが押しつけにならなければいけませんが、親の願いです。親の願いは、親の願いです。

相手に聞こえないと意味がないですし「ごめんね」の一言は特に難関で困ります。

すぐに言えなかつた時は、何故、その時にその言葉が必要だったのか考えるようにしています。

思いやよりも小さい子ども達に難しいと思いますが、人を大切にしてほしいので相手の立場になって考えられるように話しています。

少しずつ手がはなれていくわが子。心はずっと寄りそつて、いつもあなたたちを見ているよと伝え続けていきたいと思っています。

「お母さん、あのね。」と言わいたら、たとえ家事の途中であつてもできるだけ手を休め、子どもの言葉に耳を傾けるようにしています。「そうだったの。」「すごいね！」と聞いてあげるだけですが、そのキラキラとした表情を見ていると、認められ、受け入れられることで子どもの自信と喜びに繋がっていくのだと確信します。

わが家には小五、小二の娘と年長の息子があります。この子たちにはぜひ自分自身を愛せる大人になつてほしい。その自己肯定感の源は親の温かいまなざしなのかもしれません。

（詳しく述べる）
● 東部（越谷市） ☎ 048-978-6449（代）
● 利根（久喜市） ☎ 048-535-034（代）
● 西部（入間市） ☎ 042941-6172（直）
（詳しく述べる）
（総合トップ→「地域療育センター」で検索）

埼玉県では、発達障害の特性が気になるお子さんを支援する地域療育センターを県内6か所に開設しました。地域療育センターでは、作業療法士等の専門職がアセスメントによりお子さんの特性を把握し、その子に合った個別療育を提供することによってお子さんの発達を促します。

また、御家庭における子育ての参考としていただくため個別療育の内容の説明、保護者サロンや保護者向け学習会の開催などの親支援を実施します。

埼玉県内（さいたま市を除く）にお住まいの就学前から小学校3年生までのお子さんが対象で、発達障害の診断の有無に関わらず利用することができます。ただし、他の医療機関等で発達に関する個別療育を受けている方は対象外です。

個別療育は月1回程度、1回千円です。また、個別療育の実施前に行うアセスメントや親支援は無料です。

利用は予約制となつておりますので、まずは、お電話にてお近くの地域療育センターに問い合わせください。

地域療育センター（社会福祉法人等に委託）の連絡先

● 南西部（志木市） ☎ 080-9650-1375（直）

● 県央（桶川市） ☎ 048-856-9723（代）
（児童デイサービスやまと内）

● 秩父（秩父市） ☎ 0494-21-7171（代）
（さやかサポートセンター内）

● 東部（越谷市） ☎ 048-978-6449（代）
（法人事務所「合」内）

● 利根（久喜市） ☎ 048-535-034（代）
（相談支援事業所あかり内）

● 西部（入間市） ☎ 042941-6172（直）
（詳しく述べる）

地域療育センターを開設しました

もうすぐ夏休み

大家族の夏休み

長龍寺幼稚園

池山がある

わが家の夏休み

吉山君枝

堂下 真奈美

双葉台幼稚園
秘かな楽しみ

幼稚期満一歳から小学校入学までの時期)は、遊びや生活を通して、心情、意欲、態度、基本的生活習慣など、「生きる力」の土台を育む時期です。
県教育委員会では、幼稚期に身に付けてほしいことを、「子育ての日安『3つのめばえ』」としてまとめました。

長い長い夏休み 沢山の思い出をと思う反面9人兄弟の大家族のわが家ではそうもいきません。唯一夏休みの恒例行事といえば海の近くでのキャンプです。

家ではできない様々な事を体験します。小さな手にペグとハンマーを持ち、上の子達のまねをしながらテント設営の準備、お米をとる子どもたち。東北三大祭りである、青森ねぶた祭を経験し地域愛に溢れる地元の人たちとふれあう貴重な機会にしたいと思います。

いたり、食器洗い、はじめ
ての包丁、与えられた仕事を
をキチンとこなす事を学びま
す。普通、親の背中を見て
育つといいます。が、池山家
では、上の子の背中を見な
がら日々成長していきます。

キャンプは、その成長をぐんとのばすいい機会だと思います。お互い助けあいながら、楽しみながら自分の役割をこなす、毎年のキャンプで家族の絆を深めていきたいと思います。

子どもたちにとつて夏休みはかけがえのない宝物。今年もまた、夏休みにしかできない経験をたくさんしてほしいなと思います。

今年のGWには畑の水やりを手伝っていた息子。その時の苗や種が夏休みには立派に育ち沢山の実を付けているはずです。楽しい収穫体験はもうすぐです。

おしく思いながら、更に海が楽しみになつています。
初めて海を見た息子は二体どんな顔を見せてくれるのでしようか。どんな行動をしてくるでしようか。
私の秘かな楽しみはフツフツと膨らみ、そんな事を考えつつ明日は浮き輪を探しに行こうと思います。

して い ま す。そ ん な 姿 を 見
る と 嬉 し く な る と と も に、
自 分 達 の 生 ま れ た ま ち に 対
し て の 興 み に も つ な が れ ば

体験が詰まっているようで
す。息子は五感を使って自
ら色々な事を学んでいるよ
うでした。

おしく思いながら、更に海が楽しみになつています。
初めて海を見た息子は一
体どんな顔を見せてくれる

る子どもたち。東北三大祭りである、青森ねぶた祭を経験し地域愛に溢れる地元の人たちとふれあう貴重な機会にしたいと思います。

を見つけた時は、まるで宝物を発見したかのように大はしゃぎしていました。真っ赤なブチトマトを見つけた時は、そのままポイツ

くよ」と言うと、ニコッと笑つて「壁はあるの?」と言いました。どうやら、壁がないと海の水がこぼれてしまふと思ってるようです。

こんな場面はありませんか?
「生活」～物を大切にする～
使ったおもちゃを片づけるとき…

- 親 子
「片づけなんぞ面倒くさいよ。」「お母さんが片づけてくれればいいじゃない。」

親 「大きくなつたんだし、自分で片づけられるだじょ。」

かかわりのヒント ↓ 必要性

 - 大事なおもちゃをなくしたり、壊したりしなくなるようにしまつておこうね
 - おもちゃをしまった場所が分かつていれば、次に使いたいときに、すぐに出して遊べるね
 - お母さんと一緒に片づけようか

子
「このおもちゃは、
また使うなら、この
ままでもいいじゃな
い。」

親
「このまま広げてお
いたら、邪魔で困る
よ。」

かかわりのヒント
● 片づけて部屋がきれいになると気持ちがいいよ。



子育ての目安「3つのめばえ」

井 沿

- 健康で安全な生活をする
 - 自分のことは自分でする
 - 物を大切にする

他者との関係

- 人とかかわる力を身に付ける
 - 言葉で伝え合う

興味・関心

- 好奇心や探究心をもつていろいろなものに関わる
 - 文字や数量などの感覚を豊かにする
 - 自分の思いを表現する

平成27年度

子育てフォーラムの開催について



今年度も埼玉県内21会場で子育てフォーラムを開催しています。子育てに不安や悩みを抱え、自信をなくしているお母さんも多いと思います。ぜひ一度この子育てフォーラムに参加してみてください。気持ちをリセットして、子育てを楽しむヒントをもらえることでしょう。すでに実施された地区もありますが、どちらの会場でも参加は自由にできます。

開催日	地区	会場
6月5日(金)	武藏	行田市教育文化センターみらい
6月10日(水)	西武	狭山市民会館
6月12日(金)	中部	桶川市民ホール
6月17日(水)	埼北	久喜総合文化会館
6月18日(木)	大里	熊谷文化創造館さくらめいと
6月25日(木)	川越	川越文化会館(ジョイフル)
6月30日(火)	児玉	本庄市市民活動交流センター(はにぽんプラザ)
7月2日(木)	西入間	坂戸市勝呂公民館
7月9日(木)	東部	春日部市民文化会館
9月8日(火)	川口	川口総合文化センター
9月8日(火)	武南	戸田市文化会館
9月15日(火)	比企	東松山市民文化センター
9月15日(火)	秩父	秩父市福祉女性会館
9月16日(水)	東南(草加)	草加市アコスホール
9月16日(水)	大宮	さいたま市民会館おおみや
9月18日(金)	東入間(ふじみ)	富士見市民文化会館(キラリふじみ)
10月20日(火)	東南(越谷)	越谷コミュニティセンター
11月4日(水)	上尾	上尾コミュニティセンター
11月11日(水)	東上	朝霞市民会館(ゆめぱれす)
11月13日(金)	中央区	さいたま市産業文化センター
11月25日(水)	浦和	市民会館うらわ

※開催時間は、9：30受付、10：00～12：00を予定しています。

お母さんの嬉しい、楽しい気持ちは子どもに伝わっているという話が心に響きました。

毎日、楽しいことを見つけたり、良かったと思えることを大事にして過ごせたらと思います。先生の話は面白く、聞いていて楽しい気分になれました。

初めて参加しましたが、一人目の子どもの時に聞いておきたかったと思いました。

日々の子育てを振り返って、怒ってばかりだな、スキンシップが足りなかったなど反省しています。これからは、気負わず気楽に笑顔を忘れずに子育てしていくこうと思います。

子育てフォーラムに参加して (参加者感想文より)

経験することや誉めることの大切さを知りました。子どもに無理やり教え込むのではなく、親が一緒に行動することで、子どもは自然にいろいろなことを身に付けていくということがわかりました。

何も特別なことは必要なく、日常生活の中で親子と一緒に体験して、共感することが大切だということがわかりました。子どもの話をゆっくり聞いてあげたり、誉めてあげることを実践していくこうと思いました。

私の幼稚園日記

幸せな日々

真由美幼稚園 大谷 晴香

幼稚園教諭になり二年目ですが、本当に楽しい毎日を送っています。一日が「おはようございます。」と元気な声から始まり、「さようなら。」の言葉で終わっていきます。その一日は、ただ時間が過ぎるのではなく時間を忘れるほど、かけがえのない一日です。登園するとほとんどの子が「先生あのね。」と前日の出来事を嬉しそうに話してくれたり、「先生が大好きだからあげる。」とお花をくれます。子どもたちに喜びをもたらす事ばかりです。

保育の中でも特に心がけている事は、小さな事でも「ありがとうございます」と頑張ったねの言葉を、子どもの目を見て笑顔で伝える事です。苦手なものを一口挑戦して食べたり、最後まで投げ出さず取り組んだり、様々な場面での子どもの頑張りを認め、ほめてあげる事でやる気にもつながります。「ありがとうございます。」は一日で一番多く使う言葉で、まずは良いことに気付くようにしています。子どもたちにも「君お手伝いしてくれてありがとうね」「先生、お仕事頑張ってくれてありがとう」とありがとうの輪が広がり、胸が温かくなります。上手くいかない事もありますが、子どもの成長を感じ、笑顔を見られるのは、心から素敵なお仕事だと感じています。子どもと一緒に悩み、考え、泣いたり笑ったりすこちと共に成長していきたいと思います。



思わずにつっこり、子どもの可愛いつぶやき

富士見台幼稚園 山崎 美奈

あつという間に過ぎてしまう日々の保育の中で、心安らぐ瞬間があります。それは子どもたちの笑顔はもちろん、可愛くて思わず伝いしてくれてありがとう」「先生、お仕事頑張ってくれてありがとう」とありがとうの輪が広がり、胸が温かくなります。上手くいかない事もありますが、子どもの成長を感じ、笑顔を見るのは、心から素敵なお仕事だと感じています。子どもと一緒に悩み、考え、泣いたり笑ったりすこちと共に成長していきたいと思います。

もたちも一番上の年長組。今は年長担任として、その時の子どもたちを受け持っています。おばつかない足取りで走っていた後ろ姿はいつの間にか逞くなり、小さい学年の子に優しくする姿を見る度に、2年前を思い出します。「○○くんはこんなことを言っていたのよ、○○ちゃんはこんなことをしていたのよ。」と話すと、「うそー、忘れちゃった」と驚いたり、「覚えてるよ。」とはにかんだり。子どもたちの心と身体の成長を感じます。そんな可愛らしい姿や、一つひとつでかかるようになつていく成長に関わることに感謝し、一瞬一瞬を見逃さず、良い点や成長したところを見つけたら沢山褒めてあげる、そんな保育者でありたいと思いません。

年少児の母親です。幼稚園でプールが始まっていますが、うちの子はまだオムツが取れていません。公共施設(温泉やプール)同様、幼稚園でもオムツの子は入れないと分かっていますが、他の子と同じように幼稚園のプールに入れ楽しませてあげたいと思っています。どうしたら良いのでしょうか。



Question

子育て相談 Q & A

Answer

三歳児のオムツに関しては、多くの保護者の方が悩んでいることだと思います。月齢による機能の発達の差や家庭環境など、年少児は年中・年長児に比べ、「自分から尿意を伝えることができオムツが取れる」という時期はさまざまです。

プール活動が始まる前にオムツが取れるのが理想ですが、その子の発達段階を考えず、間に合わせようとオムツを取ることだけに集中してしまうことは、子どもにとっても保護者にとっても良い方法だとは思いません。

年中や年長になってもプール活動はありますので、「年少ではプールは見学する」、「園の先生方に相談し、家庭で使うようなプールの対応をお願いしてみる」、「違う方法で水遊びを楽しむ」など、一人で悩まず、子どもにとって良い方法を園と相談しながら見つけてください。

「いつかは取れる」の気持ちで長い見通しを立て、決して焦らないでくださいね。もしかしたらプールに入っている子から良い刺激を受け、突然取れてしまうかもしれませんよ。

(増田智恵子)



電話相談件数(H26.4~H27.3)

内容別件数(のべ件数)

元気がない	1
乱暴な行動が目立つ	4
落ち着きがない	3
偏食が目立つ	3
友だちができない	6
いじめる いじめられる	12
集団生活になじめない	6
ことば(幼児語幼児音等)	12
お話が聞けない	3
その他	180
合 計	230

「その他」の内訳(のべ件数)

夫婦・家庭に関すること	13
保護者自身に関すること	34
園・学校へ行きたがらない	14
幼稚園に関すること	40
子どもの健康に関すること	14
子ども自身に関すること	67
友だちに関すること	25
自閉症・チック・多動・学習障害等	6
親子の関わり方	61
反抗期	15
排泄	6
その他(親同士・習い事・相談機関等)	45
その他の内訳の合計	340

*複数項目にわたる相談のため、その他と
その他の内訳の合計は合致しません。

幼児教育センターだより

「ダダこね」は健全な

成長のため意思表示



買い物に行くと、「アイス買って!」、「おもちゃ買つて!」と大きな声で泣いている子の姿をたまに見かけます。もう買つてくらまで絶対にここを動かないと全身で主張しています。買い物だけに限つたことではありません。公園に遊びに行けば、「まだ遊びたい。帰らない!」とお母さんに背中を向けている子もいます。そんな「ダダこね」にお母さん方はほとほと困つてしまします。子どもがダダをこねた時のお母さんの方の対応は様々だと思います。「ダメ

す。子どもがダダをこねた後でね」、「ご飯の支度があるから早く帰るよ」と応えたり、中には、どんどん先に歩いて行つてしまふお母さんもいます。電車の中

や、大勢の人が集まる場所で「ダダこね」が始まると、周りの人の迷惑を気にして親の方が慌ててしまうものです。言うことを聞かないわが子にイライラして、「何でこんな所で聞き分けのないことを言うの」と感情的に叱つて黙らせた経験のある方もいらっしゃるでしょう。「ダダこね」は、子どもが自分の怒りや悲しみを上手くコントロールできなかつたり、伝えられないために癪癪を起こすものです。本当にいろいろなことが原因になります。自分の気持ちを言葉で伝えられるようになつた年長さんでさえ、ダダをこねる時があります。子どもの「ダダこね」は、ただのわがままでなく、

わけがあるものです。たとえば、お腹がすいていたり、眠たかつたり、歩き通して园に遊びに行けば、「まだ遊びたい。帰らない!」とお母さんに背中を向けている子もいます。そんな「ダダこね」は、お母さんに対する怒りをぶつけているわけではないのです。逆にお母さんにいっぱい甘えたくなります。悪い子だから、ダダをこねるのでお母さんの育て方が悪いからでもありません。「ダダこね」は、健全な成長のための意思表示の一つです。今度、「ダダこね」が始まつたら、「そうね、暑いね。アイス食べたくなつちやつたね」などと優しく話しかけ、抱きしめて泣き止むまでヨシヨシと

背中を撫でてあげましょう。きっと少しずつお子さんの気持ちも落ち着いてくることでしょう。甘えられるお母さんがいるからこそ、「ダダこね」をするのです。成長にしたがって、我慢もできるようになり、「ダダこね」はだんだんと減つてくるものです。成長のために必要な過程なのだと思います。だと思えば、不思議と「今までどうしたの」と優しく大らかな気持ちで対応することができるでしょう。

「ダダこね」は、健全な成長のための意思表示の一つです。今度、「ダダこね」が始まつたら、「そうね、暑いね。アイス食べたくなつちやつたね」などと優しく話しかけ、抱きしめて泣き止むまでヨシヨシと

もうすぐ夏休み。もう夏休みの計画を立てているご家庭も多いと思います。皆さんの子どもの頃の夏の思い出は何ですか。夏祭り、花火大会、虫取りや川遊びなどいろいろとあるでしょう。たまには、夕涼みがてら親子で近所にお散歩に出かけてはいかがですか。時間を感じせず、ゆっくり子どもと歩いてみると、美しい花を見つけたり、きれいな声で鳴く鳥を見たり、日常ではなかなか感じることのできない心豊かな時間を過ごせることでしょう。

編集後記

子育て電話相談

毎週月～金曜日 午前10時～午後4時

☎048-863-7811

幼児教育センター

